

研究機関：広島大学

研究課題名	ヒト病変部組織と非病変部組織中の細胞表面糖鎖の構造解析
研究責任者名	広島大学大学院・統合生命科学研究科 准教授 中堅 三弥子
研究期間	2014年9月11日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日
対象者	<p>広島大学病院において、2004年1月1日～2014年6月30日の間に、手術時迅速診断、細胞診断または生検診断のために採取された病変の細胞や組織を病理診断科で検査し、食道癌、胃癌、膵臓癌、肝臓癌、胆嚢癌、肝内胆管癌、肝外胆管癌、小腸癌、大腸癌または前立腺癌と診断された検体のうち、病理診断科において教育・研究利用のために保存されている残余検体がある患者さんを対象とします。</p>
意義・目的	<p>癌化の原因については、現在、ウイルスの感染、環境因子（アスベスト、喫煙など）、物理的要因（放射線、紫外線など）、遺伝的要因（がん遺伝子、がん抑制遺伝子など）などが関係していると言われていますが、未だにはっきり原因がわかっていない癌もあります。糖鎖とは糖がくさり状につながったもので細胞の表面を覆っています。これまでに、その糖鎖が受精・発生・分化、免疫、神経機能など様々な生命現象に広く関わっていることが明らかにされてきました。今回は、この糖鎖という分子が、癌化の原因の1つにもなっているのではないかと考え、癌部組織と非癌部組織の細胞表面の糖鎖の構造を解析し比較する研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、病理診断科において手術時迅速診断、細胞診断または生検診断の時に病理診断科で保存された情報を転記して行います。その情報の内容は、年齢、性別、ABO血液型、疾患名、細胞診断の結果です。（個人が特定出来る情報は転記しません。）</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院・病理診断科 教授 有廣光司
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。</p> <p>不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒739-8530 東広島市鏡山1-3-1 Tel: 082-424-4539          広島大学大学院・統合生命科学研究科 准教授 中堅三弥子 (研究責任者)          または          〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5591          広島大学病院・病理診断科 教授 有廣光司 (研究分担者)</p>